事例紹介

② ローカルを体感、満喫、リピートする宿泊&観光コンテンツづくり

宿泊施設と地域事業者等の連携による
周遊促進や滞在時間延長の取組み紹介

2024.6.6
株式会社モデルビレッジ

モデルビレッジ

取り組み紹介のゴール

自分たちの地域でも
“これならできる”
と思えるきっかけを得る

考えていただきたいポイント

1.自分たちのエリアは、
どのような事業者と一緒に取り組めそうか

考えていただきたいポイント

2.自分たちの地域にある〇〇
も観光資源になりえるのではないか
（まだ観光資源ではなくてもOK）

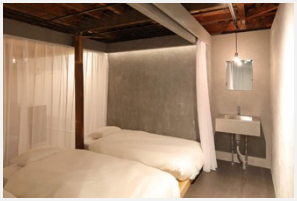
考えていただきたいポイント

3.何度も足を運びたくなるスポット
実際にリピーターの多いスポット
（観光地でなくてもOK）

1.分散型ホテル（まち型）

SEKAI HOTEL（大阪・布施）

エリアの事業者：喫茶店（飲食施設）、銭湯、えべっさん（神社）等



古民家を改装

取り組み事例のポイント

01.宿泊施設を分散させてまちに回遊性を持たせる

02.カメラで撮りたくなるスポットの提示

03.地元での和菓子づくり体験

04.“食べまわる”というアクティビティ

05.まちごとホテルというブランディング

地元での和菓子づくり

1泊10色付きプラン

滞在型観光といえるポイント

・宿泊施設が中心となって事業者を巻き込んだ組織づくり
・クリエイティブの高いホームページ等でのプロモーション
・最初は宿目的で来ていた人が、個々のお店にリピートで訪れる

https://www.sekaihotel.jp/

スポット提示

2.分散型ホテル（山間部）

集落丸山（兵庫・丹波篠山）

エリアの事業者：宿泊施設（古民家）、農家（収穫体験）、飲食店等

集落

取り組み事例のポイント

01.宿泊施設を分散させて集落に回遊性を持たせる

02.村人がマイペースに運営

03.村の散歩、ホタル観察など無理の少ないアクティビティ

04.集落内のレストランでの食事（自炊も可能）

05.かつては一般の住宅であった古民家を活用

田植え

蕎麦と旬のお料理

宿泊部屋

<u>滞在型観光といえるポイント</u>
・「集落」という村人内での組織づくり
・自分たちが無理のない範囲で営業することにより持続性
・季節ごとに提供する体験アクティビティ

https://www.maruyama-v.jp/

1.地域観光をブランドで創出する事例（県内事例）

KILTA IKEGAWA

エリアの事業者：古民家ホテル 山のめぐみ舎（宿泊施設）
CAFÉ &BEEFかる（飲食店）等

古民家ホテル　山のめぐみ舎

貸切堰のテントサウナ

夜神楽（練習会）

CLUB　KILTA

<u>滞在型観光といえるポイント</u>
・宿泊施設を中心に地元のプレイヤーで組織されている
・CLUB KILTAという場が自分たちのブランド指標になり、かつ地域のキーマンが集まる場になっている
・夜神楽という元々観光用ではないコンテンツに着目してツアーに組み入れている

取り組み事例のポイント

01.地域の伝統的なものである夜神楽の練習会への着目

02.既存の観光資源である仁淀川へのアレンジ

03.観光と切り離せない地元の“食”との連携

04.宿泊施設からの自然を満喫できる景色

05.CLUB KILTAというブランディングを自ら創出

2.ワーケーションで創出する事例（海外事例）

チェンマイ（タイ）

エリアの事業者や資源：ネット環境のあるカフェ（飲食施設）、
ワット・プラタート・ドイ・ステープ（寺院）等

Café（ワーケーション可）

取り組み事例のポイント

01.外国人もターゲットとして想定
（決して英語が堪能な訳ではない）

02.ネット環境が整った場所の提供（カフェが点在）

03.寺院という文化的資源の活用

04.ゾウと触れ合うなどの体験コンテンツの存在

05.イベントやマルシェなどの定期開催

観光名所でもある寺院

朝食

<u>滞在型観光といえるポイント</u>
・地方ならではのリーズナブルに滞在できる
（安くてご飯がおいしい）
・パソコンで仕事ができる環境が提供されている
・コンパクトな町並みで、エリア内をトゥクトゥクで移動できる

トゥクトゥク